

# 令和8年度 学校教育目標並びに教育方針

## 1 学校教育目標

「やる気、根気、元気で、たくましく生き抜く瑞穂っ子」

## 2 めざす学校像

- 安全に・安心して学ぶことのできる学校
- 確かな学力とたくましく生きる力が身につく学校
- 意欲と喜びにあふれる学校



安心して学び、生き生きと活動できる学校

## 3 教育方針

- ①主体的・能動的に考え、行動・創造する。 【考えて行動】
- ②自他を尊重し、自己肯定感を高める。 【わたしも大事、あなたも大事】
- ③役割と責任を、協働的に果たす。 【すべきことを仲間とともに】
- ④向上心をもち、体験を経験化する。 【やってみる】
- ⑤家庭や地域と連携・協力し、よりよい成長を支える。 【家庭・地域とともに】

## 4 期待する児童像

- 主体的に、根気よく学ぶ子 <かしこく>
- やさしく思いやりがあり、協働で高め合う子 <やさしく>
- 心身ともに元気で、たくましい子 <たくましく>

## 5 期待する教師像

- 子どものよりよい成長に向け、主体的・協働的に努力する教師（学び続ける教師）
- 子どもとともに元気に活動し、一人一人の多様な力を伸ばす教師（伸ばす教師）
- 責任感ある行動をし、児童・保護者・地域から信頼される教師（信頼される教師）

## 6 本年度の重点

### (1) 確かな学力の育成 <生きる「知」へ>

- ①主体的・対話的で深い学びの授業づくりを実践する。
- ②計画的な授業と帯タイム指導により、基礎・基本の確実な定着と活用力の向上を図る。
- ③学習規律を確立し、認め合い、高め合う学級づくりを行う。

### (2) 英語教育の推進 <グローバルな視野へ>

- ①英語の日常化を図り、関心を高める。
- ②高学年・中学年の英語検定チャレンジを推進し、英語力を高める。
- ③ALTを積極的に活用し、コミュニケーション力の向上を図る。

### (3) ICT教育（Hakuism DiVE 3.0）の推進 <未来を拓く力へ>

- ①ねらいに迫る効果的なICT活用（クロムブック機能、デジタル教科書等）を図る。
- ②デジタルドリル、電子図書、デジタル新聞の活用を進める。
- ③家庭学習における端末活用（習熟、まとめ、表現・発信等）を推進する。

### (4) ふるさと教育×豊かな心 <将来につながる「徳」へ>

- ①自然や文化の学習「Beautiful Japan～瑞穂のかわらぬもの～」を充実して展開する。
- ②道徳教育の充実とともに、明るい挨拶やきまりを守る等規範意識の向上を図る。
- ③交流・体験活動を充実し、自他を大切にした関係づくりや自己肯定感の向上を図る。

### (5) 基本的生活習慣と体力づくり <元気の土台となる「体」へ>

- ①体育の授業の充実、縄跳び・スポチャレ等を通して体力の向上を図る。
- ②早寝・早起き・朝ごはん等、生活リズムの定着に努める。
- ③家庭学習の習慣化を図り、自主的に学び続ける姿勢を養う。

### (6) 安全・安心に学ぶことができる学校づくり <日々の「安定」へ>

- ①積極的な生徒指導を進め、迅速な情報共有、課題の未然防止・早期対応を図る。
- ②災害時対応、安全教育の充実を図る。
- ③保護者・地域への積極的な情報発信と誠実な対応に努める。

### (7) 羽咋版コミュニティスクールの機能化・働き方改革 <支える大人の力>

- ①地域連携協議会を生かし、地域の「人・モノ・コト」を生かした活動体制を構築する。
- ②持続可能な業務、効率的・効果的な業務遂行の工夫をする。
- ③専門職として資質を高める研修やOJTを計画的に実施する。（教職員の資質向上へ）